

- 問1 江戸時代の中期、田沼意次らが積極的に進めた経済政策に関連して、幕府が「株仲間」を公認した仕組みについて述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 武士が商売に参入することを奨励するため、武士を役員とする組合を組織させた。 | 2. 商工業者に組合結成を認め、冥加金などの税を徴収することで幕府の財政安定を図った。 | 3. 外国との貿易を独占させるために、長崎の商人だけに株仲間の結成を許可した。 | 4. 物価の上昇を抑えることを最優先し、商工業者の組合結成を厳格に禁止した。 |
|--|---|---|--|
- 問2 1637年に九州の島原・天草地方で起こった大規模な一揆の背景として、当時の状況を正しく説明しているものはどれか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 江戸幕府がキリスト教を公認して保護したことで、特権を失った仏教勢力が農民を扇動して反乱を起こさせた。 | 2. 領主が新田開発を強制し、キリスト教から仏教への改宗を拒んだ者に対してのみ減税を行ったために対立が深まった。 | 3. 鎖国政策が緩和され、海外から安価な農作物が流入したことで生活が苦しくなった農民たちが蜂起した。 | 4. 領主による過酷な年貢の取り立てが行われていたことに加え、キリスト教徒に対する激しい迫害が続いていた。 |
|---|--|--|---|
- 問3 百姓一揆の際に作成された「からかさ連判状」において、署名が円形に配置された主な目的として最も適切なものはどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|------------------------|--------------------|-------------------------|
| 1. 中心人物が誰であるか特定されないようにするため | 2. 将軍への直訴であることを明確にするため | 3. 参加者全員の身分を証明するため | 4. 五人組制度に基づく連帯責任を強化するため |
|----------------------------|------------------------|--------------------|-------------------------|
- 問4 江戸時代の政治において、老中の田沼意次は商工業者が結成した同業者組織を積極的に公認しました。この組織に独占的な営業権を与える見返りとして、幕府が課した税（営業税）を何といいますか。適切な組み合わせを次の中から選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|------------|
| 1. 年貢・公事 | 2. 関銭・津料 | 3. 矢銭・段銭 | 4. 運上金・冥加金 |
|----------|----------|----------|------------|
- 問5 武家社会で定められた御成敗式目と公事方御定書の特徴について説明した文として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 御成敗式目は唐の法律をそのまま模範にして制定され、公事方御定書は戦国大名が領内を独自に支配するために定められた。 | 2. 御成敗式目は江戸幕府の第8代将軍が制定し、公事方御定書は鎌倉幕府の執権である北条泰時が制定した。 | 3. 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。 | 4. 御成敗式目は天皇や公家の権力を強める目的で制定され、公事方御定書は外国との貿易を規制するために定められた。 |
|---|---|---|--|
- 問6 田沼意次が行った経済政策の背景とその目的について説明した文として、最もふさわしいものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 商品作物の栽培を厳しく制限することで、農民を米作りに専念させ、江戸時代初期のような安定した年貢収入を復活させようとした。 | 2. 印旛沼の開拓や長崎貿易の奨励を行ったが、これらはすべて飢饉対策として、幕府が食料の備蓄を直接管理することを目的としていた。 | 3. 貨幣経済が農村まで浸透し、年貢米だけに頼る財政が限界に達していたため、商業資本を利用して幕府の収入源を多様化しようとした。 | 4. 武士の困窮を救うために、徹底した倹約を行わせると同時に、外国との貿易を一切禁止して国内の物価を安定させようとした。 |
|---|--|--|--|
- 問7 1840年代、老中の水野忠邦が行った天保の改革において、幕府の権力を強化するために、江戸や大坂周辺の大名・旗本の領地を幕府の直轄地（天領）にしようとして出された命令を何といいますか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|-----------|----------|
| 1. 上知令 | 2. 薪水給与令 | 3. 株仲間の解散 | 4. 人返しの法 |
|--------|----------|-----------|----------|
- 問8 江戸時代の17世紀から18世紀にかけて、新田開発により全国の耕地面積は約2倍に拡大しました。これに伴い、広島藩などで盛んになった綿などの商品作物の栽培において、イワシを加工した「干鰯（ほしか）」の価格が急騰し、1両で購入できる量が約10分の1にまで減少した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 商品作物の収益性を高めるために、高い肥料効果を持つ金肥としての需要が急増したため | 2. 麻の漁網の普及によりイワシの漁獲量が大幅に減り、市場への供給が不足したため | 3. 幕府が年貢の減免を目的として、干鰯を農村に安く配給する制度を廃止したため | 4. 自給自足の農村において、米の代わりとなる主食としての需要が全国的に高まったため |
|---|--|---|--|
- 問9 江戸幕府の第8代将軍である徳川吉宗が、実学（生活や産業に役立つ学問）を奨励するために行った政策として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 1. 朱子学以外の学問を幕府の学問所で教えることを禁止した。 | 2. 長崎の出島におけるオランダ人との貿易を全面的に禁止した。 | 3. 全国の藩校において、西洋の軍事技術のみを教えるよう命じた | 4. キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入制限を緩和した。 |
|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
- 問10 江戸幕府が貿易を管理する仕組みが変化していく過程で、1630年代には将軍の許可だけでなく、さらに厳格な制限が加えられました。朱印状に加えて、長崎奉行が発行する許可証を携行しなくてはならなくなった貿易船を何と呼びますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1. 遣唐使船 | 2. 奉書船 | 3. 菱垣廻船 | 4. 朱印船 |
|---------|--------|---------|--------|
- 問11 江戸時代の文化は、時期によって担い手や表現技法が変化しました。江戸時代後期に登場した、多色刷りによる鮮やかな色彩が特徴の木版画を何と呼びますか。また、その代表的な作者を選びなさい。 (2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|------------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 名称：錦絵、作者：喜多川歌麿 | 2. 名称：浮世絵（肉筆画）、作者：菱川師宣 | 3. 名称：障壁画、作者：狩野内膳 | 4. 名称：水墨画、作者：雪舟 |
|-------------------|------------------------|-------------------|-----------------|
- 問12 江戸時代後期に書かれたある物語では、弥次郎兵衛と喜多八という二人の人物が伊勢参りに向かう道中を面白おかしく描いており、当時の庶民の間で大流行しました。この作品の作者は誰ですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 松尾芭蕉 | 2. 十返舎一九 | 3. 井原西鶴 | 4. 木居宣長 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問13 17世紀後半のイギリスで名誉革命が達成されたことにより、世界に先駆けて確立された「立憲君主制」の仕組みについて説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 複数の国々が対等な立場で同盟を結び、共通の法律を制定する仕組み | 2. 国王が神から授かった絶対的な権限を持ち、すべての法律を決定する仕組み。 | 3. 国王を完全に廃止し、国民が選んだ代表者のみが政治を行う仕組み。 | 4. 国王が憲法や法律に基づき、議会の承認を得て政治を行う仕組み。 |
|------------------------------------|--|------------------------------------|-----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 商工業者に組合結成を認め、冥加金などの税を徴収することで幕府の財政安定を図った。	田沼意次の時代には、商業の力を利用して幕府の財政を潤そうとする政策がとられました。商工業者が組織した「株仲間」を公認し、彼らに営業の独占権を与える一方で、その対価として税を納めさせる仕組みを整えました。これは、従来の年貢だけに頼る財政構造から脱却し、商業資本から直接的に税を吸い上げることを意図したものでした。
問2	答え 4 領主による過酷な年貢の取り立てが行われていたことに加え、キリスト教徒に対する激しい迫害が続いていた。	この一揆は、領主による重い年貢の徴収という経済的な苦しみと、キリスト教徒（キリシタン）への厳しい迫害という信仰上の弾圧が重なったことで発生しました。天草四郎を首領として約3万7千人が原城に立てこもりましたが、幕府軍によって鎮圧されました。この事件を機に、江戸幕府はキリスト教の禁止をより徹底し、鎖国体制を完成させる方向へと政策を強めていくことになります。
問3	答え 1 中心人物が誰であるか特定されないようにするため	一揆の首謀者は極刑などの重い罰を受けるため、署名の順序をなくして円形にすることで、誰が指導者であるかを隠す意図がありました。また、参加者全員が対等に団結し、同等の責任を負うことを示す意味合いも含まれています。
問4	答え 4 運上金・冥加金	田沼意次は、商工業者の同業者組織である「株仲間」を公認し、営業の独占権を認める代わりに「運上金（うんじょうきん）」や「冥加金（みょうがきん）」と呼ばれる税を課しました。これにより、従来の年貢（農業収入）だけに頼っていた幕府の財政を、商業資本からの収入によって立て直そうとしたのが特徴です。中世の「座」が寺社や公家に奉仕して得ていた特権とは異なり、近世では幕府や藩という公権力が商人を統制・利用した点に違いがあります。
問5	答え 3 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。	御成敗式目は北条泰時が武士社会の道理や慣習をもとに定めた鎌倉幕府の裁判基準です。公事方御定書は徳川吉宗の時代に公判や刑罰の基準を統一・明確化するために定められました。
問6	答え 3 貨幣経済が農村まで浸透し、年貢米だけに頼る財政が限界に達していたため、商業資本を利用して幕府の収入源を多様化しようとした。	江戸時代中期以降、貨幣経済の発達により、農業を基盤とする幕府の財政は行き詰まっていました。田沼意次は、商人の力を活用して株仲間の結成、印旛沼の開拓、蝦夷地の調査、長崎貿易の拡大などを進め、商業の活性化を通じて財政を立て直そうとしました。しかし、こうした政策は賄賂の横行を招いたとして、のちに松平定信らによって批判の対象となりました。
問7	答え 1 上知令	水野忠邦は幕府の財政基盤を固め、軍事・経済の要所である江戸や大坂の支配を強めるために、周辺の土地を直轄地にするこの命令を出しました。しかし、領地を差し出すことになる大名や旗本、さらには農民たちからも激しい反対を受け、実施できずに終わりました。これが原因の一つとなり、水野忠邦は失脚することになりました。
問8	答え 1 商品作物の収益性を高めるために、高い肥料効果を持つ金肥としての需要が急増したため	江戸時代中期、新田開発によって農地が広がると、米以外に綿や菜種といった市場で販売するための「商品作物」の栽培が活発になりました。これらの作物を効率よく大量に生産するためには、従来の刈敷（かりしき）などの自給肥料ではなく、干鰯や油かすのように現金で購入する「金肥（かなごえ）」が必要不可欠となりました。麻の漁網の普及によってイワシの漁獲量自体は増えていましたが、それを上回る勢いで農村部での肥料需要が高まったことが、干鰯の価格高騰を招きました。
問9	答え 4 キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入制限を緩和した。	徳川吉宗は享保の改革において、幕府の財政再建とともに産業の発展を目指しました。その一環として、天文や医療、農業といった実用的な知識を取り入れるため、それまで厳しく制限されていた漢訳洋書（西洋の書籍を中国語に翻訳したもの）のうち、キリスト教に関係のないものについては輸入を認め、学問の発展を促しました。
問10	答え 2 奉書船	幕府はキリスト教の伝播を防ぎ、貿易の統制を強めるため、1633年に朱印状に加えて長崎奉行が発行する「奉書」という副申状を必要とする制度を整えました。これを「奉書船貿易」といい、これ以降、日本人の海外渡航や帰国が段階的に制限され、いわゆる「鎖国」の状態へと近づいていくことになります。
問11	答え 1 名称：錦絵、作者：喜多川歌麿	江戸時代後期（化政文化の時期など）には木版画の技術が高度に発達し、それまでの単色や少ない色数の刷り物から、多色刷りの「錦絵」へと進化しました。喜多川歌麿はこの錦絵の技法を用いて、繊細な美人画を数多く描きました。これに対し、菱川師宣は江戸時代前期に浮世絵というジャンルを確立しましたが、当時はまだ手書きの肉筆画や単色刷りが中心でした。雪舟は室町時代の水墨画、狩野内膳は安土桃山時代の屏風画の人物であり、時代が異なります。
問12	答え 2 十返舎一九	江戸時代後期の化政文化では、庶民の旅や日常生活をユーモアたっぷりに描いた「滑稽本」というジャンルが人気を博しました。十返舎一九が書いた『東海道中膝栗毛』はその代表作であり、伊勢参りという当時の庶民の憧れを題材にしています。井原西鶴は元禄文化期に「浮世草子」を執筆した人物であり、時代背景や作品の性質が異なるため注意が必要です。
問13	答え 4 国王が憲法や法律に基づき、議会の承認を得て政治を行う仕組み。	名誉革命後のイギリスでは、1689年の「権利の章典」によって国王の権限が厳しく制限されました。これにより、国王は「君臨すれども統治せず」という原則のもと、憲法や法律の枠内で議会を尊重して政治を行う「立憲君主制」が整えられました。これは、フランス革命などで見られた「共和制」とは異なり、国王という存在を維持しながら議会政治を行う形です。